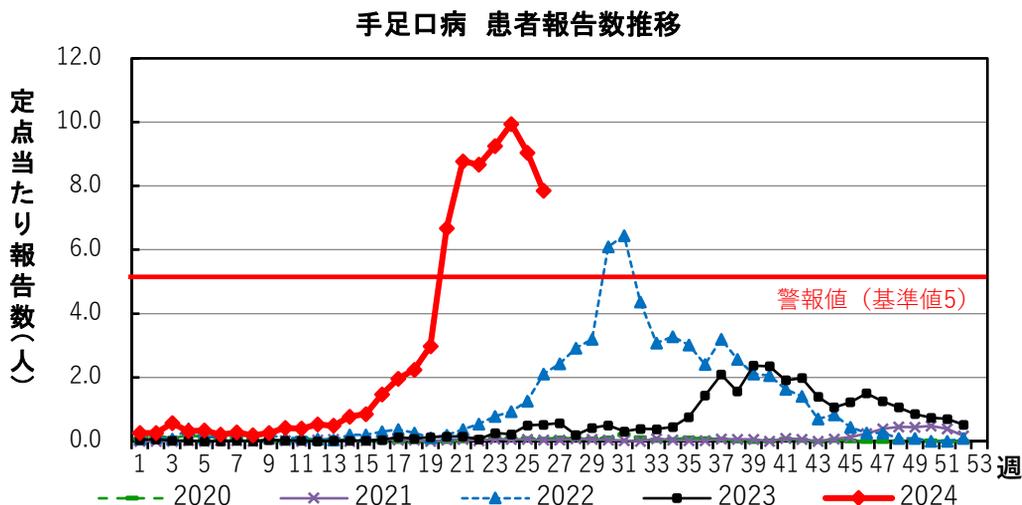


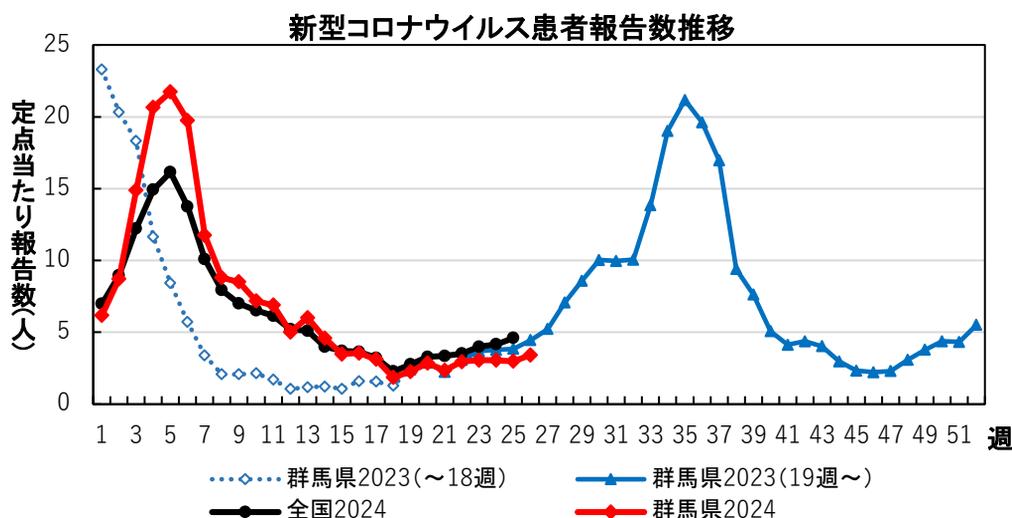
## ● 手足口病 (定点報告疾患)

- ◆ 2024年第26週 (6月24日～6月30日) の定点からの報告数は416人 (定点あたり7.85人) でした。  
【第25週 (6月17日～23日) : 479人 (定点あたり9.04人)】
- ◆ 年齢群別で年齢群別で1歳が131人 (31.5%) と最も多く、次いで2歳が82人 (19.7%) でした。



## ● 新型コロナウイルス感染症 (定点報告疾患)

- ◆ 2024年第26週の定点からの報告数は291人 (定点あたり3.42人) でした。  
【第25週 : 253人 (定点あたり2.98人)】
- ◆ 年齢群別で50歳代が47人 (16.2%) と最も多く、次いで10歳代が39人 (13.4%) でした。



※2023年第1週から第18週までは厚生労働省が発表した定点医療機関合計報告数と定点当たり報告数 (令和4年10月3日～令和5年5月7日の週次データ) から作図

## ●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム解析について (Vol.52)

### 新型コロナウイルスゲノム解析結果(2024年第26週(6月24日～30日)まで)

県内では、オミクロン株が2021年第50週(12月13日～19日)に初めて検出され、2022年第1週(1月3日～9日)以降、BA.1が主な流行となりました。

2022年第2週(1月10日～16日)に渡航歴のある患者からBA.2も検出されましたが、その後の拡大はみられていませんでした。第9週(2月28日～3月6日)以降、BA.2の検出が増加し、主な流行となりました。第25週(6月20日～26日)以降、新たにBA.5が主流となりました。

2023年15週(4月10日から16日)以降は、XBBが目立って検出されるようになり、主流となっていると考えられます。

2024年は、JN.1(BA.2.86系統)や、その子孫株の1つであるKP.3が検出されています。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更となりましたが、引き続き医療機関での検体収集の協力により、ゲノム解析による流行株の把握が重要と思われます。

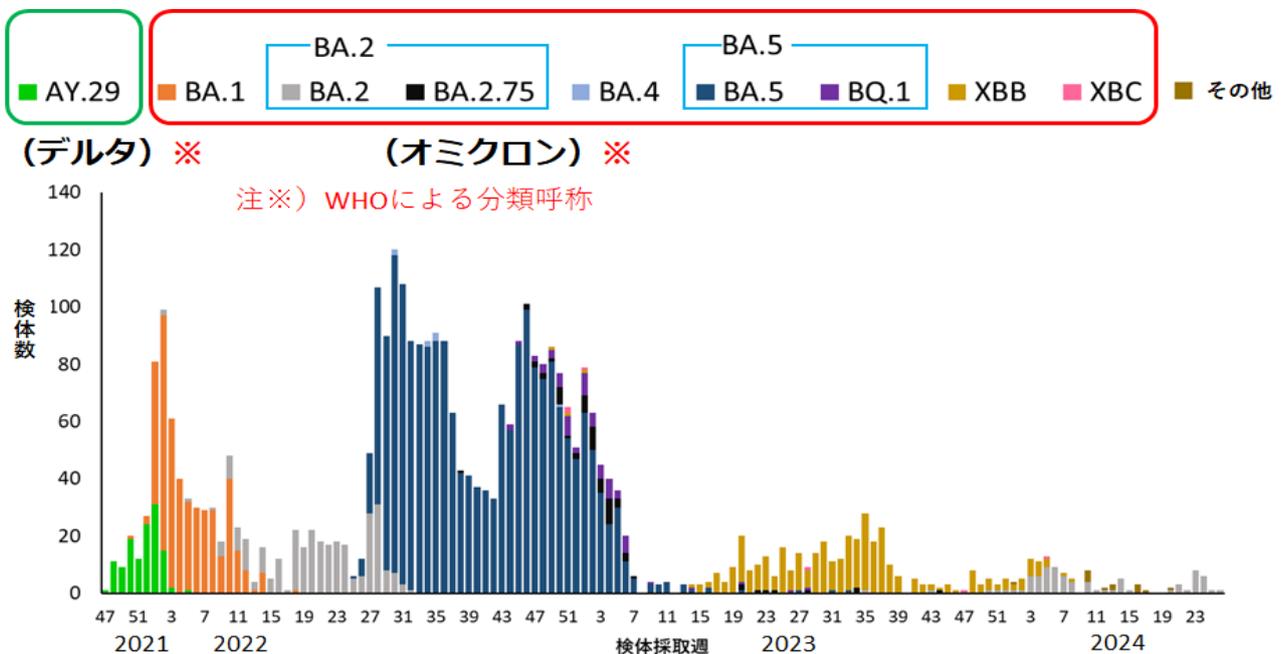


図1 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(検体数)【群馬県衛生環境研究所実施分】

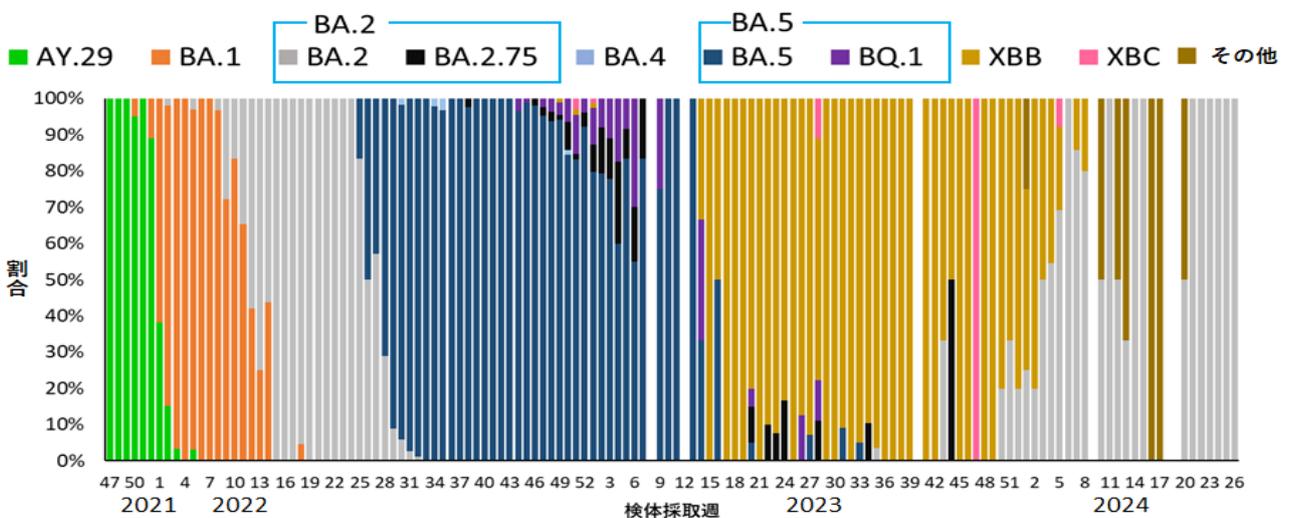


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(割合%)【群馬県衛生環境研究所実施分】